

他院との差別化にイマ注目の戦略

施術にプラス α の価値を取り入れる

姿勢評価・分類 導入ガイド



企業間の競争が激しさを増す中で、整骨・整体の業界も例外ではありません。

施術の質だけでなく「納得感のある説明」や「信頼性の高い評価」によって、顧客の満足度やリピート率を高める取り組みが求められています。

中でも注目されているのが、“姿勢評価”というアプローチです。身体の不調の原因には、姿勢のゆがみが深く関係しているとされ、実際に**腰部に関する12の症候群のうち10症候群で、姿勢の改善が治療の一部に含まれている**という報告もあります（Kendall『筋：機能とテスト－姿勢と痛み』, 2006）。

しかし整骨院の施術現場において、こうした評価をどう具体的におこない、顧客にどう伝えるかという課題をよく耳にします。

ゴールデンラインは確認できても、それだけではお客様が納得してくれない。もっと根拠をもって説明したい

私たちがサービスを提供する中でも、このようなお声をよく伺うようになりました。

本資料では、そうした現場の“もっと”を実現するために、**より精度の高い姿勢評価の方法**とその導入ポイントを、事例や理論を交えて解説しています。

応対の中で姿勢評価を取り入れたい整骨院の方や、すでに導入しているが評価手法の改善を検討している方にとって、実践的なヒントとなる内容です。



1. 姿勢評価・姿勢分類について

姿勢評価とは

姿勢分類とは

姿勢分類の手法

施術における活用フロー

施術現場での課題

2. AIを活用した姿勢評価について

概要・導入メリット

導入の進む背景

3. AI姿勢分析アプリePose（イーポーズ）のご紹介

機能紹介

活用事例

料金体系

導入方法

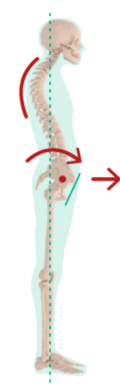
運営会社

姿勢評価・姿勢分類 について

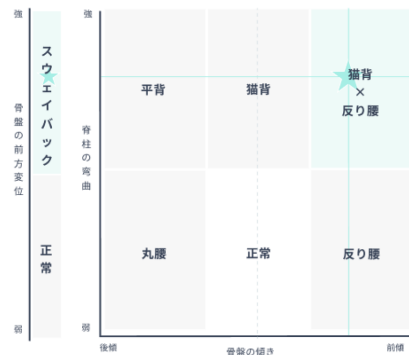
AI姿勢タイプ判定 ①

猫背 × 反り腰 × スウェイバック

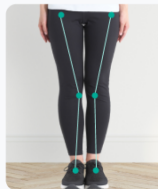
姿勢のイメージ



姿勢タイプ



X脚・O脚と重心 ②



X脚 177.2° (平均値)

左脚 178.2° / 右脚 176.2°

重心位置

右方 / 前方



姿勢評価とは、**身体の各部位が理想的なアライメントからどのように逸脱しているかを確認するための手法**です。

耳・肩・骨盤・足首などの位置関係を視覚的・構造的にチェックし、身体のゆがみやアンバランスさを明らかにすることで、根本的な原因へのアプローチを可能にします。

このような姿勢評価を行うことには、**臨床的にも顧客対応的にも大きなメリット**があります。

取り入れるメリット

1) 不良姿勢によって引き起こされる疼痛状態を軽減できる可能性がある

実際に、**腰部に関する12の症候群のうち10症候群において、治療の一部に姿勢改善が含まれている**という報告もあります（Kendall『筋：機能とテスト－姿勢と痛み』, 2006）。
つまり姿勢に着目することで、慢性的な症状の原因により深くアプローチできるのです。

2) 顧客の納得感や安心感につながる

「痛みの原因に対してしっかり向き合ってくれている」「根拠をもって説明してくれている」という印象は、**信頼関係の構築やリピート率の向上**にも寄与します。



また姿勢評価において重要な視点のひとつが「**姿勢を分類すること**」です。

単に「悪い姿勢」で片づけるのではなく、**どの部位にどのようなズレがあるのか**を体系的に整理することで、評価・説明・改善指導すべての精度が高まります。

姿勢を正確に分類するには、とくに以下3部位の状況把握が重要です。

重要な3部位

脊柱の上部（胸椎）の状態

正常なカーブか、あるいは後弯（猫背）しているか

骨盤の傾き

前傾（反り腰）／正常／後傾（丸腰）のいずれか

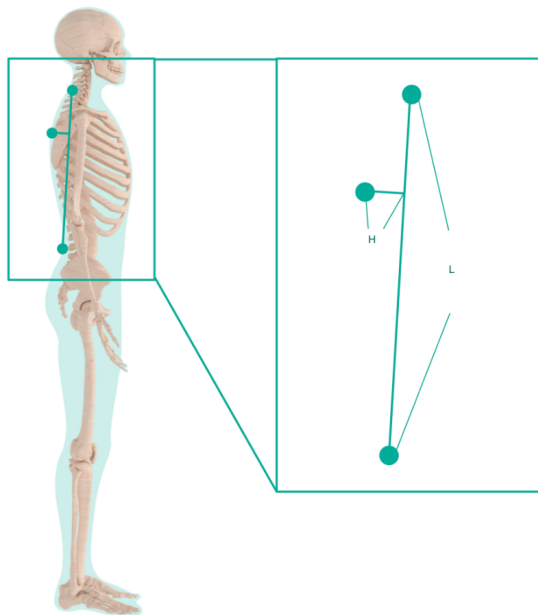
骨盤の位置

体幹に対して前方に偏位している（スウェイバック）かどうか





脊柱上部のカーブを評価する手法としては、円背指数という指標が提案されています。



第七頸椎(以下C7とする)から第四腰椎(以下L4とする)棘突起までの背部の弯曲をなぞり、その形状をトレースします。そのトレースした弯曲のC7とL4を結ぶ直線をL、直線から弯曲の頂点までの距離をHとします。

脊柱の弯曲は $(H/L \times 100)$ として算出します。

出典 : Milne JS, Lauder IJ. Age effects in kyphosis and lordosis in adults. Ann Hum Biol. 1974 Jul;1(3):327-37. doi: 10.1080/03014467400000351. PMID: 4419577.



骨盤の位置を評価する手法としては、**外耳道 - 大腿骨大転子 - 踵立方関節**を結ぶラインを確認する方法が一般的です。

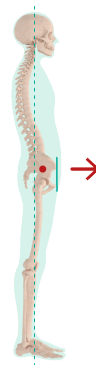
理想的なアライメントの場合

外耳道 - 大腿骨大転子 - 踵立方関節を結んだ線が一直線上に並ぶ。



前方傾位の場合

大腿骨大転子が、外耳道 - 踵立方関節を結んだ線よりも前方に位置する。

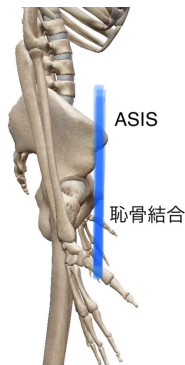




骨盤の傾きを評価するアプローチとしては、以下の2種類が主に用いられます。

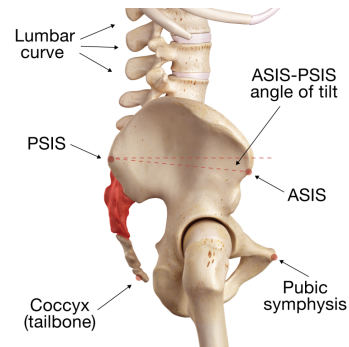
恥骨結合を使用する方法

上前腸骨棘（ASIS）と恥骨結合を結んだ線が鉛直方向に並んだ線の傾きで評価する



上後腸骨棘を使用する方法

上前腸骨棘（ASIS）と上後腸骨棘（PSIS）を結んだ線の傾きで評価する





評価した姿勢を分類する方法として有名なのが、**Kendallによる姿勢タイプの分類**です。

ここでは不良姿勢が3つに分類されています。

kendallの提唱する3種類の不良姿勢

1) 後弯 - 全湾姿勢（猫背 × 反り腰）

脊柱の後弯 + 骨盤の後傾

2) 後弯 - 平坦姿勢（スウェイバック）

脊柱の後弯 + 上半身の後方偏位 + 骨盤前方偏位 + 骨盤後傾

3) 平背姿勢

脊柱の後弯 + 骨盤の後傾

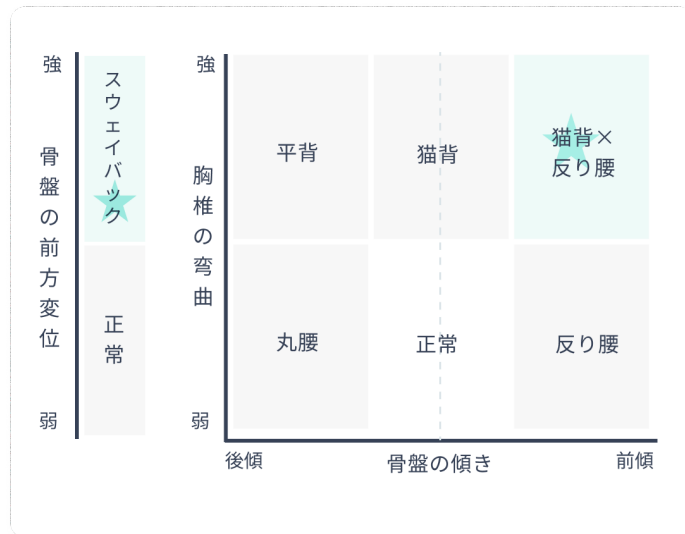
しかし施術現場で姿勢評価・分類をおこなっていると、**上記の3種類に当てはまらない不良姿勢のお客様**も多いことに気がつきます。



不良姿勢が単に3つの分類に止まらない理由は、**不良姿勢の併発が多い**ためです。

正常姿勢まで含めると、現代人の姿勢は実に**12種類**へ分類されると考えられます。

1. 正常
2. 正常 × 丸腰
3. 正常 × 平背
4. 正常 × 猫背
5. 正常 × 反り腰
6. 正常 × 猫背 × 反り腰
7. スウェイバック
8. スウェイバック × 平背
9. スウェイバック × 丸腰
10. スウェイバック × 猫背
11. スウェイバック × 反り腰
12. スウェイバック × 猫背 × 反り腰



姿勢の評価・分類を行うことは単なるチェック作業ではなく、施術の方針を決め、顧客の納得を引き出すための重要なプロセスです。実際の施術の中でどのように取り入れるか、その基本的な流れとポイントをご紹介します。

1 初回カウンセリングでの可視化と信頼構築

初回カウンセリングにおいて、現在の姿勢の状態を視覚的に提示することが非常に重要です。

顧客の姿勢を「見える化」することで、以下のような効果が得られます。

- ・「こんなにズれていたのか」と気づきを与える
- ・「ここが原因でこの痛みが出ているのか」と納得感を与える

単なるチェックに止まらず、施術の必要性を伝える強力なコミュニケーション手段となります。

2 姿勢タイプ別に施術アプローチを最適化

姿勢分析によって得られた分類結果に基づき、アプローチすべき部位や、施術方針を検討できます。

例えば以下のようなケースが考えられます。

- ・反り腰が強いタイプには、股関節前面や腰部の緊張を取る施術
- ・猫背が目立つタイプには、胸郭の可動域改善や肩甲帯の調整

分類結果をもとに施術内容を個別化することで、よりの確な改善が期待できます。

3 施術前後の比較による効果実感の強化

施術前後で姿勢を再測定することで、変化をその場で感じていただきやすくなります。

そうすることで、以下のようなメリットが得られます。

- ・顧客自身が「良くなっている」と感じやすくなる
- ・「数値で説明できる」ことで、次回来院への動機づけにもなる

接客対応の満足度向上や、リピートの促進にもつながります。

4 継続モニタリングによるフォローアップ

複数回にわたる施術においては、初回だけでなく定期的に姿勢の再評価を行うことが重要です。

改善の進行度を「見える化」し、変化している部位・停滞している部位を把握することは、顧客にとっても安心材料になります。

それは顧客自身の行動変容（ストレッチの継続など）を促す材料にもなり得るため、長期的な姿勢改善・体質改善を実現しやすくなり、顧客満足度や信頼感の向上にも大きく寄与します。

こういった姿勢評価や分類を取り入れた施術にはメリットがある一方で、現場に導入する際には、いくつかの**実務的な課題**もあります。

たとえば、現状では「お客様の写真を撮り、各部位に線を引いて説明する」といった方法が一般的ですが、

「作業に手間と時間がかかる」

「線を引いて説明したとしても、顧客にとっては分かりづらい」

「一生懸命に説明しても、あまりピンときていないことが多い」

といった声が多く聞かれます。

また顧客が納得するためには、**定量的・数値的な根拠の提示**が求められるケースも多くありますが、現場で一人ひとりがそこまでのクオリティを担保した応対を実現するのは、**技術的・人的なハードルが高い**という現実もあります。

そこで昨今、施術の現場での導入が進んでいるのが、**AIを活用した姿勢評価・分類法**です。

AIを活用することが、施術内への姿勢評価の導入ハードルを大きく下げ、また競合店舗との差別化にもなり得ると注目されています。

AIを活用した姿勢評価 について

分析結果 ⑦





AIを活用して姿勢評価・分類をおこなうことを、昨今では「**AI姿勢分析**」と呼びます。撮影した画像から自動的に身体のランドマーク（耳・肩・骨盤・膝・足首など）を検出し、姿勢のゆがみや偏位を解析・分類する技術です。

AIの導入メリット

自動検出による時短



画像をアップロードするだけで、AIが身体の各部位の位置を認識し、分析を完了。施術者の手作業を大幅に削減できます。

定量的なフィードバック



骨盤の傾き角度や体軸のズレ幅などを数値で提示できるため、顧客にとっても理解しやすく、納得感が生まれやすくなります。

施術前後の比較が容易



分析結果はデジタルデータとして蓄積されるため、施術前後の変化を可視化し、継続的なモニタリングにも活用可能です。

一貫性のある評価基準



人によって評価にばらつきが出てしまうリスクを軽減し、客観的かつ安定した分析結果を得ることができます。

これまで姿勢分析といえば大掛かりな機材を使用する必要があり、一般的な施術現場への導入は難しいケースが多い分野でした。

しかし昨今AIの発達により、タブレットやスマートフォンのカメラさえあれば高精度な姿勢分析ができる段階まで技術が進歩しています。

施術の「説得力」を高めたい、説明の「見える化」をしたいと考える院にとって、“人の目”と“テクノロジー”を融合させた次世代の**姿勢評価ツール**として、非常に有効な手段といえるでしょう。

他院との差別化や顧客満足度アップへの取り組みに着目した整骨院、フィットネスジム、ヨガスタジオ、ピラティススタジオなど、姿勢と向き合うあらゆる業種や職種で取り入れられ始めています。

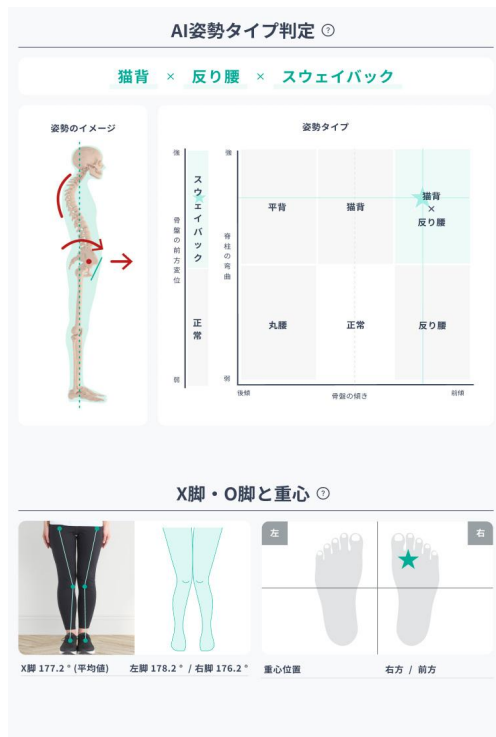


AI姿勢分析アプリ ePose イーポーズ

のご紹介



弊社の提供するAI姿勢分析アプリePoseでは、わずか2枚の写真から以下のようなレポートを出力します。
接客応対の中で、施術内容の根拠としてご活用いただけます。





特徴① 12種類の姿勢タイプ分類

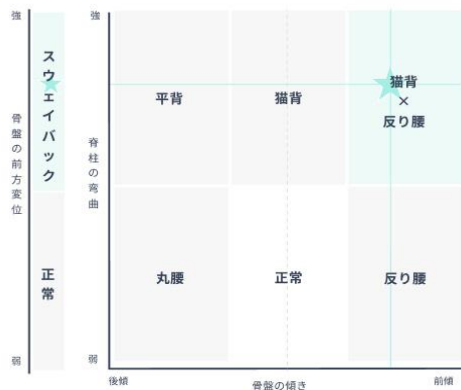
AI姿勢タイプ判定 ②

猫背 × 反り腰 × スウェイバック

姿勢のイメージ



姿勢タイプ



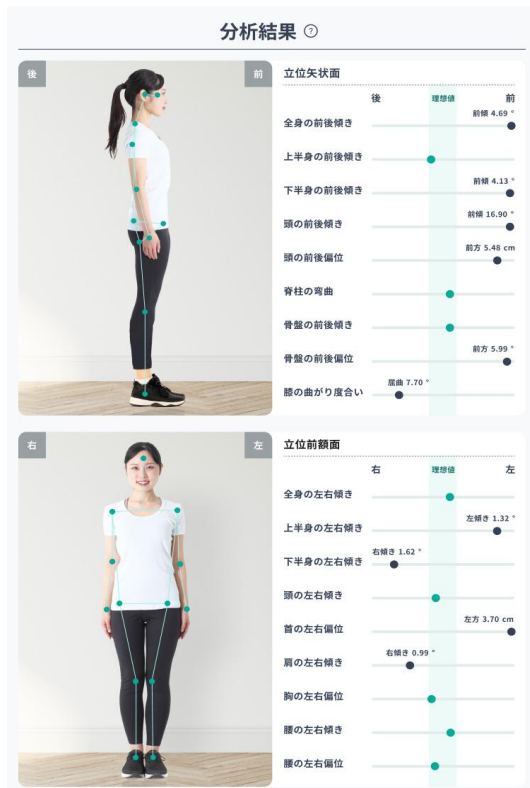
ePoseの姿勢分析レポートでは、顧客の姿勢タイプが自動的に12種類へと分類されます。

例えば正常な姿勢であっても少し猫背に近い、あるいは反り腰に近いなど、0か100かではなく段階的な状況も把握できるグラフになっています。

口頭のみでお客様の姿勢分類を説明するよりも「お客様の納得を引き出しやすい」と、ご好評いただいている機能です。



特徴② 数値による定量的な姿勢評価



撮影した正面・矢状面の写真へと自動的にキーポイントが配置され、正常なアライメントとのズレを数値でも出力します。

実際の姿勢の写真を見せながら説明することで、お客様の”自分ごと化”の手助けができ、より納得度の高い施術をサポートします。



お客様の姿勢タイプに応じて、筋肉の状態を表示します。

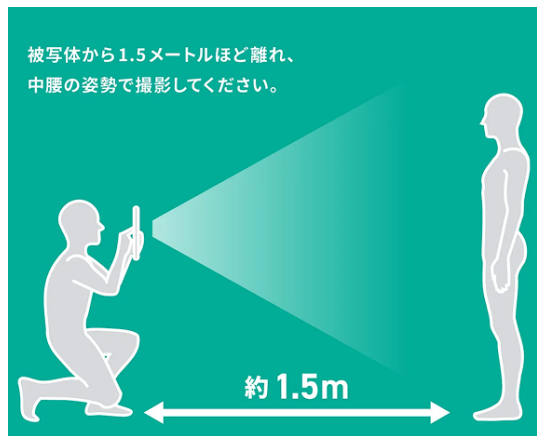
縮まっている可能性の高い筋肉、伸びている可能性の高い筋肉を別の色で表示し、また筋肉部位ごとに表示/非表示の切り替えも可能です。

施術中のお客様への説明にはもちろん、新人スタッフの方のトレーニングにも役立つとご好評いただいている機能です。

iPadなどのタブレット、あるいはスマートフォンをご用意ください。
あとは少しのスペースがあれば、わずか30秒で姿勢分析が完了します。

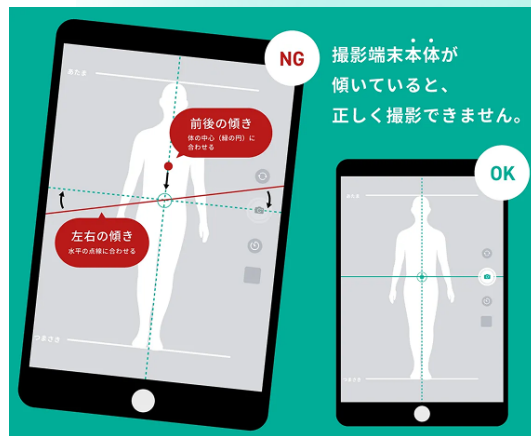
1. 撮影準備

被写体から1.5mほど離れ、中腰の姿勢で撮影します。



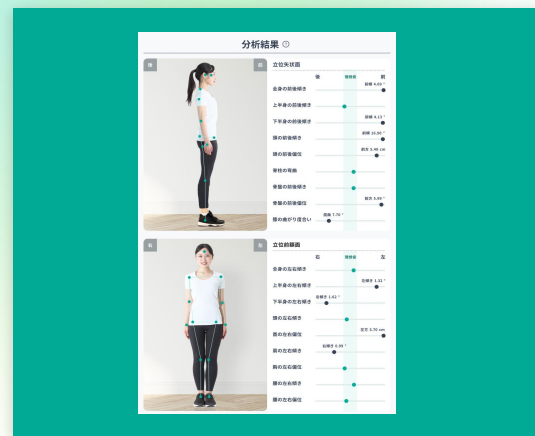
2. 写真を2枚撮影

ガイドラインに合わせて、前顔面と矢状面の撮影を行います。



3. 分析完了

およそ30秒で分析が完了。
お客様の姿勢分析レポートが出力されます。



「初回で納得してもらうための“見える化” にePoseが役立っています！」

導入前の 課題

施術に姿勢分析を取り入れていたが、うまくお客様の納得を引き出せていなかった

もともと当院の施術では、姿勢分析を行いながら患者様に現状を伝えていました。その姿勢分析では私が写真を撮影し、それを使って説明をしていました。しかし、口頭だけの説明だけでお客様の納得を引き出すというところに課題を感じていました。

そこで広告などで「AI姿勢分析」というものを知り、色々なツールを試していました。色々使ってみて、比較した結果、価格と評価項目の充実度や精度のバランスを考え、最終的にePoseを選びました。

一つのケースでは、ぎっくり腰を何度も繰り返しているというお客様に、ePoseを使って姿勢分析を行いました。そのお客様は丸腰と判定されましたが、丸腰とは骨盤が後傾し、腰の筋肉が伸びるような姿勢です。伸びながら収縮しようとする「伸張性収縮」が慢性的に起きていて、腰の筋肉に大きな負担がかかっていたのだらう、ということが推察できます。

その分析結果をもとに、矯正用のベッドで背骨のストレッチを行ったり、「伸びている」と表示された筋肉にEMSを当てる施術を実施しました。施術後にもう一度計測すると数値が改善し、お客様もとても納得し満足していただきました。





「伝わる姿勢分析が可能になりました！」

導入前の 課題

手作業でお客様の写真に線を引いて説明していたが、いまひとつ良い反応が得られていなかった

これまでは姿勢チェックをする際、写真に手作業で線を引き、お客様に説明していましたが、正確さに欠けることもあり、お客様の反応も良くありませんでした。

また姿勢分析システムの導入には専用の機材が必要というイメージが強く、それが高額であったり場所が必要だったりするため、そういったシステムの導入はためらっていました。

しかしePoseは、タブレットさえあれば手軽に始められる点が非常に魅力的で、当院の条件にもぴったり合いました。ePoseを使って、お客様の様の姿勢を数値化し、お客様自身がご自身の姿勢の状態や施術の必要性を実感していただけるようになりました。

私自身で写真を撮影して、その写真に線を引いて説明をしていたときに比べると、明らかにお客様の反応が違いました。姿勢の改善を目指すお客様に、具体的にどの部分に問題があり、どう改善していくべきかを示すことが簡単になりました。

ePoseの自動的に体のポイントや線を引いてくれる機能により、従来の手作業と比べて、説明もスムーズです。導入からまだ日が浅いため、今後もePoseを使って、お客様の姿勢の経過観察をしていきたいと思っています。





初期費用

¥0

有料プランならAI姿勢分析が無制限

何度分析しても追加料金は一切かかりません

無料でお試し

フリープラン

¥0

※フリープランには月5回までの
姿勢分析回数制限がございます。

月額制で使い放題

※税込価格

12ヶ月プラン

¥6,800 /月

合計 ¥81,600

¥36,000お得

6ヶ月プラン

¥8,800 /月

合計 ¥52,800

¥12,000お得

3ヶ月プラン

¥9,800 /月

合計 ¥29,400



ePoseは、公式サイトからいつでもアカウントを作成していただけます。

アカウント登録は無料。姿勢分析のお試しも無料です。お試しにあたってお支払い方法の入力なども不要です。

導入前の懸念事項などございましたら、Google MeetやZOOMによるオンライン会議の場も設けさせていただきます。

まずはお気軽に、AI姿勢分析によるソリューションを体感してください。

STEP1

申請フォームより
アカウント登録



STEP2

弊社による承認作業



STEP3

ご利用開始



公式サイトからアカウント登録



私たち株式会社ORGOは、世界中からバイオメカニクスの専門家が集い、最先端の研究開発に取り組むR&Dカンパニーです。

これまで3次元の姿勢推定や関節トルク、筋骨格の動きを解析するには、大規模な設備や高額なコストが必要でした。

しかし私たちは、単眼カメラ一台で、これらの高度な分析を可能にする技術を開発しました。

大学や医療機関といった限られた場でしか実現できなかった高度な姿勢分析を、誰もが、どこでも利用できるように準備を進めています。

その一歩として立ち上げたブランドが「ePose（イーポーズ）」です。

まずは“姿勢”と真剣に向き合う人たちのために、技術を現場に届け、その未来を支えたい。そんな想いからePoseが生まれました。

国のデータでは、例えば整形外科の5年後生存率はわずか5%とも言われています。真摯に取り組む経営者の努力が、環境や不確実性の中で報われない現実があります。また日本国内における統計で、男性は約8.5年、女性は11.6年ものあいだ、不健康な状態で生きる時間が存在することがわかっています。

これらは社会全体の課題であり、簡単に解決できることはありません。だからこそ私たちは「ePoseのサービスが届く範囲だけでも、より良い未来に変えていく」という姿勢でサービス開発に取り組んでいます。

姿勢と向き合う人たちの明日が、より健康に、幸せに続いていくように。

私たちはテクノロジーと共に、人々が“良い姿勢”で暮らせる社会を守っていきます。





会社名	株式会社ORGO
所在地	北海道札幌市中央区大通西18丁目2-7 アジエステート大通西プラザ 2F
研究室	札幌市中央区北4条西12丁目1-27 レゾ札幌 1F
設立	2020年8月
資本金	9,900万円
代表者	代表取締役 薦田典佳
顧問	Timothy E. Hewett (マーシャル大学医学部整形外科学科 教授)
事業内容	筋骨格動作解析システム研究・開発
共同研究	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国立大学法人北海道大学 国立大学法人旭川医科大学
認証・認定	ISMS (ISO/IEC 27001 : 2022) 認証取得 認証登録番号 : IR0186





ePose

AI姿勢分析アプリ

無料でお試し登録

サービス資料をダウンロード